

PM資料ガイド

項目	Program Management Architect プログラムマネジメント・アーキテクト PMA (Program Management Architect)	Rev.	年月日	作成
		0	030331	挾間啓之
対象	一般			
視点	基本解説			

Program Management Architect : プログラムマネジメント・アーキテクト (PMA)

PM 資料ガイドでプロジェクトマネジメント・スペシャリスト (PMS) を紹介したが、関連するプログラムマネジメント・アーキテクト (PMA) を紹介する。

1. プログラムマネジメント・アーキテクト (PMA)

プログラムマネジメント・アーキテクト (以下 PMA と略す) という言葉はまだ一般的ではない。紀伊国屋が発行しているプロジェクト関連雑誌でもこの言葉に焦点をあてた文献は見つけることが出来なかった。何故この言葉のガイドを作成したかという、プロジェクトマネジメント・スペシャリスト同様に、日本発のプロジェクトマネジメント資格でこの PMA の言葉が採用され、今後は一般的な表現として使われる可能性が高いと思われたからである。プロジェクトマネジメント・スペシャリスト資料ガイドで PMA も若干触れており、一部ダブルことになるがご容赦いただきたい。

2. アーキテクトは辞書ではアーキテクチャ (建築、建築物、建築術) を実践する「建築技師、建築家」となる。それではプログラムマネジメント・アーキテクトとはどのような人を言っているのか？それにはまず、プログラムとは？プログラムマネジメントとは？の定義や解説が必要になる。プログラムをソフトプログラムと解釈する人や企業経営プログラムと解釈する人もいる。プログラムマネジメントについては、最近多くの本で述べられている。プロジェクトマネジメントとプログラムマネジメントの相違やエンタープライズプロジェクトマネジメントと比較説明されている本もある。プロジェクトマネジメント、プログラムマネジメント、エンタープライズプロジェクトマネジメントについては、同じ資料ガイドでも紹介されているので参照いただきたい。この資料ガイドでは、PMA 資格のガイドになっている「プロジェクト&プログラムマネジメント標準ガイドブック“P2M” (以下 P2M と略す。詳細は末尾の参考文献の項を参照) 」を中心に紹介する。

- 1) まず、プログラムについて述べる。P2M ではプログラムを以下のように定義している。「プログラム (Program) は、全体使命を実現する複数のプロジェクトが有機的に結合された事業である。マルチプロジェクト (Multiple Projects) はプロジェクト相互の関連性が低い、独立しているので、厳密にはプログラムと区別して取り扱う。」プログ

ラムの特徴を以下のようにまとめている。

- ・プログラムは、全体使命を実現する複数のプロジェクトが有機的に結合された事業である。
- ・プログラムは、問題解決を教示した意味や文脈を含む多様性がある。
- ・プログラムは政治、経済、社会に展開され、規模、領域、構造で拡張性をもつ。
- ・プログラムは、複数のプロジェクトの境界、結合、ライフサイクルの複合などで生じる複雑性をもち、実現までが比較的長期にわたるので、環境の変化による不確実性に直面する。

2) 次にプログラムマネジメントについて述べる。プログラムマネジメントとは、「全体使命 (Holistic Mission) を達成するために、外部環境の変化に対応しながら、柔軟に組織の遂行能力を適用させる実践力である。この実践力の役割は、プロジェクト間の関係性や結合を最適化して全体評価を高め、使命を達成する統合活動にある」と述べている。プロジェクトマネジメントはこのプログラムマネジメントの基本枠組みの中の一つとして扱われ、プログラムマネジメントと相互補完されるべきものとしている。プログラムマネジメントを実践するためには、基本原則と共通観に基づいた下記の4つの基盤構築が重要であるとしている。

- ・全体使命の明確化 (ビジョンとミッションの明確化と文書化)
- ・知的資源を一体化するコミュニティ (人間系基盤、情報系基盤、文科系基盤の共有)
- ・プロジェクト間のアーキテクチャ最適化 (全体構造、全体機能、全体操作性)
- ・価値評価の基準化 (資産、イノベーション、調和、知的資産のアセスメント)

3) 次にプログラムアーキテクチャについて述べる。一般的なアーキテクチャとは、「要求の定義、基本要件、目的、目標、方策、方針、特徴、構成部分、構造、機能を整合した表現方式であり、モデル、文書、図面が要求される成果物である」と定義されている。そして、プログラムアーキテクチャとは、「プログラムのプロファイリングとシナリオの基本要件に基づき、それを具現化するために全体構造、全体機能、基本的な操作性などをランドデザインすることである。」と定義している。

4) 前おきが長くなったが、本題のプログラムマネジメント・アーキテクト (PMA) について述べる。PMA とは「社会、技術、文化を総合的に理解できる感覚・才能に恵まれ、専門分野で複数のプログラムのデザインや経験を持ち、シナリオを解読して実践的アーキテクチャに展開できる人材である。プログラムのシナリオを理解し、ステークホルダーが理解できるコンセプトやモデルなどに分解し、構造・機能まで設計できることが必要である。プログラムマネジャーはプログラムの実行に職務の中心をおいているが、アーキテクトには、さらに広い知識と行動力が要求される。」としている。つまりアーキテクトは最高位のマネジメント能力が要求される存在である。

- 3 . PMA とは何かについて、大体ご理解いただけたと思うが、PMA と認定されるための試験も準備されているので簡単に紹介する。この内容は、資料ガイド「プロジェクトマネジメント・スペシャリスト (PMS) 」でも紹介しており重複するが、理解を助けるために再度述べる。

プロジェクトマネジメントを専門分野とする職業人には、知識、実務経験、姿勢から形成された実践力が不可欠であり、さらには社会的責任、熱意、倫理、姿勢が問われる。この能力判定方法として“プロジェクトマネジメント資格認定センター”が設立され資格認定を行うようになった。資格認定では3段階を設けており、PMA は最高位に位置つけられている。以下その概要を示す。

1) プロジェクトマネジメント・スペシャリスト (PMS)

P2M に準拠した知識 (Acquired knowledge Level) の基礎レベル習得者に与える認定で学歴や実務経験を問わず、筆記試験により判定を行う。取得後は5年の更新となる。PMS の資格付与により、教育の普及と実践力の習得が可能になる。

2) プロジェクトマネジャー (PMR)

PMS を取得し、プロジェクトマネジメントの実務経験を有している人を対象に筆記試験と面接試験を行い、高度の実践力 (Practical Capability Level) があると認められた人に与えられる認定。取得後は5年の更新となる。

PMR の資格付与により、プロジェクトマネジャーの社会的認知と雇用機会が増大する。

3) プログラムマネジメント・アーキテクト (PMA)

PMR を取得し、プログラムマネジメントの実務経験を有している人を対象に論文試験と面接試験を行い、複雑な複数のプロジェクトを統合管理するプログラムマネジメント能力または使命達成型のプロジェクト創造や開発志向能力があると認められた人に与えられる認定。取得後は5年の更新となる。

PMA の資格付与により、プロジェクト型事業の創造による再生、変革機会が増大する。

参考文献

「P2M プロジェクト&プログラムマネジメント標準ガイドブック」

著者：プロジェクトマネジメント導入開発調査委員会

発行者：財団法人 エンジニアリング振興協会

発行日：2001年11月15日